

RISKWISE™

プラントメンテナンス最適化のための先進的な RBM ソフト



- ユニット単位のリスク監査により、補修やメンテナンス人員をリスクに集中させることができます。
- 暗黙の了解であったリスクの時間的尺度を基に、最適な点検周期を構築することができます。
- リスク軽減対策が特徴づけられ、点検頻度目標に合わせて選択されます。
- 非常に使いやすい設備のリスク評価サポートツール

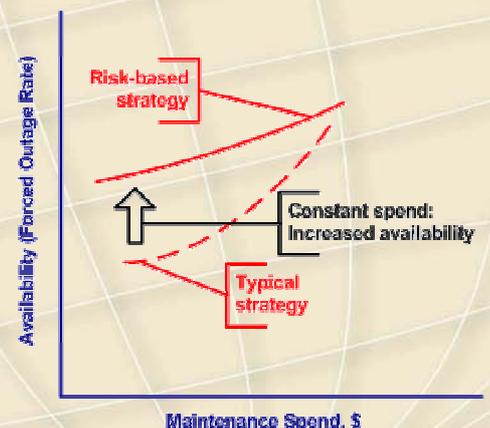
工業界では、点検やメンテナンス作業の対象及び計画を改善し、構築されたリスクベースメンテナンス（RBM）手法をプラント包括的管理に取り入れることにより、利益を得られる機会がある事が認識されています。

RISKWISE for Boilers™

- 装置製品に関する不具合の可能性やその結果を査定し、プラントユニットごとにリスクを項目別にし、残存寿命のプロファイルを作ります。
- 使いやすく、またリスクモデルによって量的だけでなく質的入力も可能であるため、習得が簡単です。
- 定期的アップデートされる全ての関連するダメージメカニズムのデータベースや、不具合の可能性や結果を定式化するためのガイダンスも含まれます。
- ユーザーは、コンポーネント毎の可能性や結果の特性を見極めたり、焦点を当てたり外したり（例えば点検やメンテナンスのレベル）して、損失のリスクを軽減したり、現在の点検プログラムを最適化することができます。
- コンポーネントごとに最もダメージが起こりやすい場所を特定し、的を射た適切な点検が可能です。
- 一定期間における不具合リスクを求め、これを正式なベースとして残存寿命を査定し、メンテナンスと点検の停電周期を確立します。

主な利点

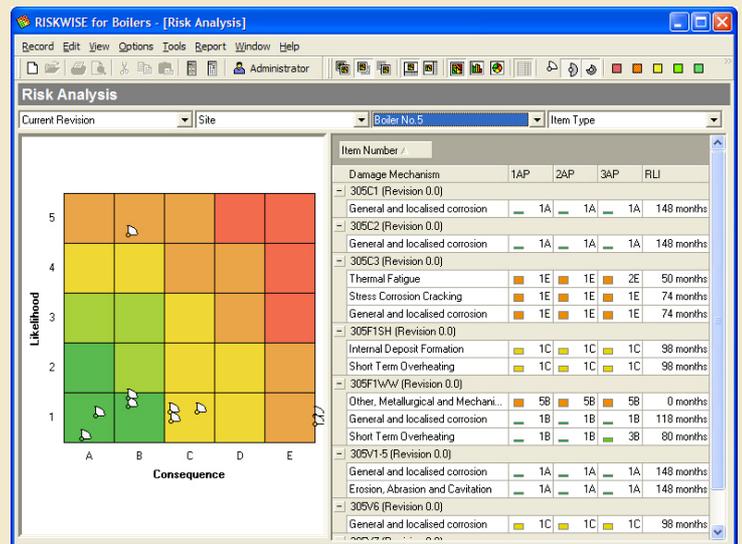
- 安全性の改善。
- 有効性の向上。
- メンテナンス経費の最適化
- 稼働時間の増加、停電時間/コストの低減、緊急停電の減少。
- リスク分析だけのツールでなく真のメンテナンスプランニングツール。



RISKWISE™ は TWI のソフトウェア製品です。

主な特徴

- ユーザーを満足させる使いやすくわかりやすいソフト
- 監査チーム手法—プラント経験を活用。
- コンピュータ化されたメンテナンス管理システムとのインターフェース接続。
- 時間ベースのリスク監査モジュール—リスクや残存寿命によるリスクのランク付け。
- 正式な信頼性ルールを基にしたメンテナンス頻度—残存寿命インジケータ (RLI) モジュール
- フォーカス/非フォーカスモジュール—最適な軽減対策を簡単に選択。
- 各種監査に対応可能なアウトプット 保険会社やイギリス政府にも認められています。



Risk distribution of components within a unit

実施方法

RISKWISE™ は、熱回収蒸気ジェネレータを含むあらゆる種類のボイラーに適用でき、タービンプラントやその他のプラントエリアでも使用する事ができます。一般的に採用されている方法は以下のとおりです。:

1. 対象プラントに応じたソフトのカスタマイズ及び必要情報の登録。
2. ソフトのインストール。
3. ソフトの実践や機能性に関するトレーニング
4. 必要に応じたバックアップサポート



Risk comparison before and after risk mitigation

環境要件

- PC (スタンドアローンあるいはネットワーク接続されているもの)
- MS-Windows OS (NT 4.0 以上)

お問い合わせ

TWI 社製 RISKWISE™ 全シリーズ製品に関する最新情報は、riskwise@twi.co.ukへお問い合わせくださるか、弊社ホームページをご覧ください。



TWI Software
Granta Park, Great Abington,
Cambridge CB1 6AL, UK
Tel: + 44 (0) 1223 891162 Fax: 44 (0) 1223 892588
E-mail: riskwise@twi.co.uk
Website: www.twisoftware.com/riskwise